

第19期 中間報告書

2015.04.01 ~ 2015.09.30

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.advanced-media.co.jp/ir/) に 掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載いたし ます。

会社概要 (2015年9月30日現在)

会社名	株式会社アドバンスト・メディア
設立	1997年12月
資本金	49億7,309万円
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、他
所在地	本社 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 サンシャインシティ文化会館6階 Tel:03-5958-1031 (代表) Fax:03-5958-1032
連結子会社	AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) 株式会社グラモ Glamo America, Inc. (米国) 株式会社速記センターつくば
関連会社 業務提携先	True Voice Company Limited (タイ王国) Multimodal Technologies, LLC. (米国)

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書	* 配当金に関する支払調書 * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
--------	---

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031



Vision

Human Communication Integrationの実現

アドバンスト・メディアは、
「機械」との自然なコミュニケーションを実現し、
豊かな未来を創造します。

株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773

連結業績概要

当社グループは事業拡大の取り組みとして、「既存コアドメインのさらなる成長」を第一の成長エンジン、「海外事業展開、新規ビジネス創出、M&A」を第二の成長エンジンと位置付け、これら二つの成長エンジンの駆動で、今後の売上高の飛躍的な増大の実現を目指しております。

売上高

- CTI事業部において、大手金融機関に加え、大手通信販売会社や大手情報通信会社を中心とした既存顧客の導入席数が大幅に増加するとともに、利用者数・ライセンス数が伸長いたしました。
- クラウド事業部において、今夏発売を開始したウェアラブルデバイスを活用したハンズフリーIP電話サービスのプロモーション活動に努めました。
- 医療事業部において、放射線科向けパッケージ製品や介護・福祉向け製品の販売が好調に推移し、また社会問題化した薬剤服用歴（薬歴）未記入問題の有力な解決手段となる調剤薬局向けパッケージ製品の販売が引き続き高水準で推移しました。
- VoXT（議事録）事業部において、タイ王国憲法裁判所にタイ語版同システムを導入いたしました。また前期に本格サービスを開始したクラウド型文字起こしサービス「VoXT（ボクスト）」の機能強化を行いユーザー数の増加に繋がりました。
- 連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.において、Trueグループとの合併会社「True Voice Company Limited」を通じて、THAI Smileに航空業界初となる音声認識IVRを導入いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は824百万円（前年同四半期は売上高654百万円）となりました。

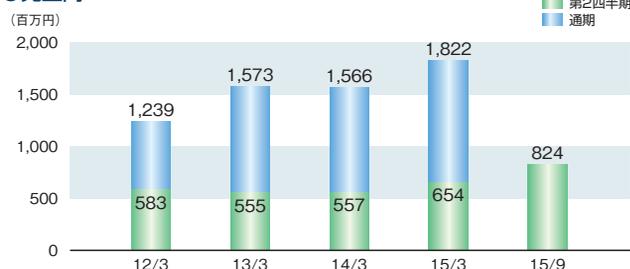
損益

- 営業利益については、当初外注を予定していた開発を内製化したことにより売上原価が低減され、粗利益率が当初計画より向上するとともに、人員の増員配置計画の見直しや効率的に研究開発活動を行ったことなどにより販管費を抑え、当初計画より赤字幅が縮小いたしました。
- 経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当社が保有する外国債券の一部が満期償還されたこと、また当社が保有する満期償還前の外国債券の全部を売却し、特別利益が発生したことなどにより、当初計画に対して損失額が大幅に減少したことで営業損失を補い、当初計画を大幅に上回ることとなりました。

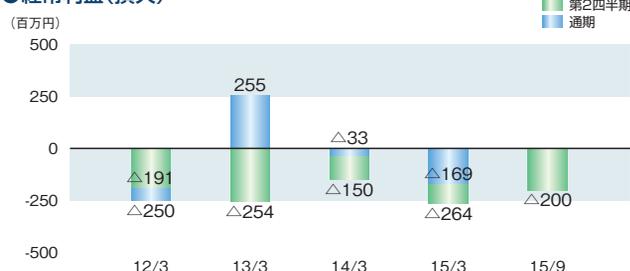
これらの結果、営業損失320百万円（前年同四半期は営業損失375百万円）、経常損失200百万円（前年同四半期は経常損失264百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失267百万円）となりました。

財務ハイライト

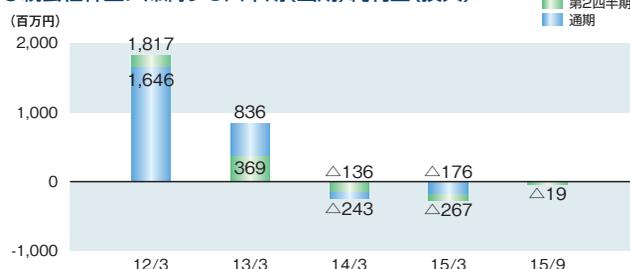
●売上高



●経常利益(損失)



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)



●総資産・純資産



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第19期中間報告書をお届けいたします。当社事業概況のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは前期より、事業拡大の取り組み方針として、これまでに築いた事業基盤の上に、①既存コアドメインのさらなる成長を第一の成長エンジンとし、②海外事業、新規ビジネス創出、M&Aを第二の成長エンジンと位置付け、飛躍的な売上増大の実現を目指してまいりました。

そのような中、①第一の成長エンジンである「既存コア事業」において、ライセンス販売を中心としたソリューション型ビジネス（ソリューション&プロダクト販売）を深耕しつつ、利用料を課金・徴収するサービス型ビジネス（フロー&ストック型サービス、エンドサービス）の拡大・創出を積極的に展開してまいりました。特に、CTI事業部ではその効果が顕在化しコールセンター向けシステムソリューションの既存顧客への拡販に繋がるとともに利用者数・ライセンス数も伸長しました。また、医療事業部においてもサービス型ビジネスの付加や社会的なニーズなどの影響により既存製品の販売が好調に推移し、ライセンス数が大幅に増加しました。さらには、AI技術を活用した次世代型の音声対話システム「AmiAgent」のリリースなど、人とコンピューターとの未来のコミュニケーションに必要な不可欠となるAI技術の開発と市場化にも尽力してまいりました。

一方、②第二の成長エンジンである「海外展開、新規ビジネス創出、M&A」において、株式会社グラモは従前のHEMS（Home Energy Management System）の発展形である、米国で市場化が進むコネクテッドホームを見据え、家電やセンサーをクラウド接続し、電力の「見える化」を実現いたしました。また、「海外展開」においては、台湾のコールセンターソリューションの最大手Grandsysと中華圏コールセンター市場へ事業展開中です。さらには、タイ通信大手Trueグループとの合併会社「True Voice Company Limited」を通じて、THAI Smileのコールセンターに航空業界で初となる音声認識IVRを提供するなど、グローバル展開を推し進めてまいりました。

今後も上記事業拡大の取り組みを実行し、音声認識技術および周辺技術のさらなる向上と音声認識技術を利用した、ユーザーにとってなくてはならないサービス開発と市場導入・展開により、さらなる企業価値を高めるよう当社グループ一丸となり事業を推進してまいります。

株主の皆様には、これまで同様、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

2つの成長エンジン

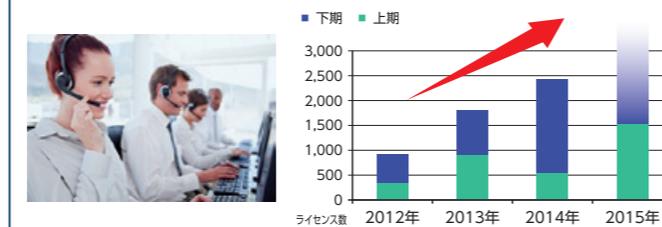
- 既存コア事業（“第一の成長エンジン”）
CTI事業・クラウド事業・医療事業・VoXT（議事録）事業・SEC事業

CTI事業



通話の見える化により品質向上とコストダウンを実現
業界トップシェアを拡大

■強力パートナーとの連携により、顧客深耕と新規顧客の開拓と拡大



- ・大手ケーブルテレビや金融機関など、既存顧客との関係強化により、大手取引先の席数が大幅に増加
- ・パートナーとのソリューション連携でシェア拡大を加速

クラウド事業



ソフトコミュニケーション実現のために
ウェアラブルデバイス・サービスに積極投資

■ウェアラブルデバイスAmiVoice Front WT01を9月より販売開始



- ・過酷な騒音環境下でも利用できる、音声認識・音声対話に特化したバジ型ウェアラブルマイク端末。
- ・幅広い業種・業務での活用



実証実験
テスト導入

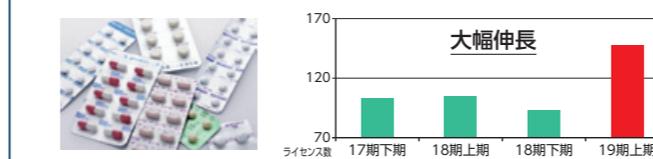
国立大学法人島根大学：救急医療での連携実証実験
パナソニック株式会社：群馬大泉工場での実証実験
株式会社JSS：東京モーターショー2015の警備にてテスト導入

医療事業



既存製品の大幅伸長と新製品リリースによる
オンリーワンの価値拡大

■調剤向けAmiVoice Ex7 Pharmacyが大幅伸長



- ・社会問題になった薬歴未記入問題の解決手段としてAmiVoiceの認知度が向上

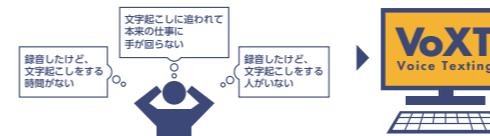
VoXT（議事録）事業



あらゆる書き起こしをサポート
ミニッツ市場を創出

■既存プロダクトへのVoXTサービスの拡充

- ・用途と納期に合わせて、お客様自身が書き起こしをする「セルフサービス」と専属スタッフがお客様の代わりに文字起こしをする「フルサービス」をご用意



SEC事業

※スマート・エクスペリエンス・クリエイト事業



人工知能技術を活用した次世代型の音声対話システム
「AmiAgent」をリリース



■バーチャルオペレーターソリューション
「AmiAgent（アミーエージェント）」

- ・音声認識エンジンAmiVoiceと対話エンジンAOI（アオイ）を軸にしたカスタマイズ型の統合ソリューション
- ・トランスコスモスと「ハイブリッド多言語コンタクトセンターサービス」を開発



- 海外事業、新規ビジネス、M&A（“第二の成長エンジン”）
海外事業、グラモ、新規ビジネス創出、M&A

海外事業



タイ通信大手Trueとの合併会社設立により
コールセンタービジネスの拡充

■航空会社THAI Smileに音声認識IVRを導入



- ・航空会社THAI Smileのコールセンターに業界初の音声認識IVRを導入

■TrueのMariプロジェクトが
Thailand ICT Excellence Awardsを受賞



- ・社会的意義のある新たな価値を創造したプロダクトとしてInnovation Project部門賞を受賞

株式会社グラモ



gglamo

■iRemoconを通じ、家電やセンサーをクラウドと接続し、電力の「見える化」



- ・家の中や外から家全体の消費電力、太陽光発電の電力、消費電力の計測および料金の見える化を実現

HEMS機器「iRemoUnit CT」

■アメリカ最大手icontrol社の
スマートホーム・プラットフォームに対応



- ・イッツコムの家電制御サービス「インテリジェントホーム」として6月よりサービス開始